

糯臭の弱い、短稈の低アミロース米新品種「シルキーパール」の育成

研究のねらい

低アミロース米品種「スノーパール」は、草丈が長くて倒伏しやすく、また飯米の糯臭が強いという問題があるため、これらを改良した品種が要望されている。そこで、このような要望に応えた低アミロース米品種を育成する。

研究の成果

「シルキーパール」は、低アミロース米系統「探系2019」(中間母本農14号)を母、短稈、早生の粳系統「ふ系143号」(ヤマウタ)を父とする組合せから育成された低アミロース米品種である。

出穂期と成熟期は「ひとめぼれ」と同程度で、育成地では“中生の晩”に属する。草丈が短くて倒伏に強く、草姿も良好である。収量は「ひとめぼれ」より9%高く、「スノーパール」より4%高く、低アミロース米品種としてはかなりの多収性である。

玄米は、千粒重が20.7gのやや小粒で、低アミロース米特有の白濁があり、精米したときの胚芽残存は少ない。アミロース含量は登熟気温により変動し、平年は7~9%であり、高温年は低く、低温年は高くなる。飯米は低アミロース米特有の強い粘りがあり、冷めても柔らかく良食味である。糯臭は「スノーパール」より少ない。

表「奥羽354号」の栽培特性(1998~2000、育成地、標肥)

品種名	出穂期 (月. 日)	成熟期 (月. 日)	稈長 (月. 日)	穂長 (月. 日)	穂数 (月. 日)	倒伏 (0-9)	玄米重 (kg/a)	千粒重 (g)	品質 (1-9)	アミロース含量 (%)
シルキーパール	8.06	9.15	68	18.4	373	0.0	54.5	20.7	4.4 (中中)	6.0
ひとめぼれ	8.06	9.14	80	20.3	356	0.7	50.0	23.6	3.3 (上中)	16.6
スノーパール	8.03	9.10	82	20.3	279	1.0	53.7	25.1	4.0 (中上)	6.8



写真1 「奥羽354号」の株標本
左から、「シルキーパール」、「スノーパール」、
「ひとめぼれ」



写真2 「奥羽354号」の玄米と籾

成果の利活用

他のうるち品種などとの混米で食味を向上させることができる。また、冷飯として流通する加工用米飯の原料としても有用である。

草丈が短く、倒伏に強いので、東北地域中南部以南の肥沃地に適する。

耐冷性、穂発芽性、いもち圃場抵抗性、白葉枯病圃場抵抗性は“中”であることに留意して適正防除につとめる。

成果の発表年 平成12年度

(問い合わせ先: 水田利用部 稲育種研究室 0187-66-2773)